



# 手をたずさえて

## 1本の襷を繋いで、見事二連覇！女子特設駅伝部

### 男子特設駅伝部も粘り強い走りで第14位 第62回郡山市中学校駅伝大会 8/29(木)

8月29日(木)郡山ヒロセ開成山陸上競技場及び開成山公園内周回コースで開催された「第62回郡山市中学校駅伝大会」において、本校女子特設駅伝部(12km5区間)が昨年度に続き見事優勝を果たし、二連覇を達成しました。1区の3年伊東舞莉彩さんが1位で2区の3年小林凜香さんに襷を繋ぎ、3区2年荒池蒼さん、4区1年小林加奈さんとすべての区間で1位をキープし、アンカーの2年菅野琳梨さんが2位の郡山三中に29秒の差をつけてゴールテープをきりました。タイムは47分23秒でした。女子は一昨年度の2位、昨年度の優勝に続き3年連続の県大会出場を決めました。

男子は18km6区間での戦いでしたが、一時は3位まで順位を押し上げるなど、一人一人が襷を繋ぎ、懸命な走りを見せてくれました。結果は14位(1時間6分15秒)でした。

また、女子第1区の伊東舞莉彩さん(3km:10分57秒)、男子第2区の増子風希君(3km:9分50秒)の2名が見事区間賞を獲得しました。伊東さんは2年連続の区間賞でした。女子は、10月3日(木)・4日(金)にいわき市で開催される県大会に出場します。さらに個々の走力を高め、チーム力で市大会以上の走りを実現させてください。また、今回も出場選手のみならず、補欠や補助の生徒達もサポート役として役割を果たし頑張ってくれました。そして、温かい応援をいただいたご家庭の皆様にも感謝申し上げます。男女ともに1・2年生も多く出場しています。来年度の活躍も大いに期待できる特設駅伝部です。



特設駅伝部の生徒達と指導にあたった先生方



女子1区伊東さん



男子2区増子君

#### 《選手及びサポートメンバー》 ○数字は学年

【女子】1区：伊東舞莉彩③、2区：小林凜香③、3区：荒池蒼②

4区：小林加奈①、5区：菅野琳梨②

補欠：伊藤 杏③、白鳥瑞季②、吉田歩花②

【男子】1区：荒城碩杜②、2区：増子風希②、3区：佐久間陽太③

4区：尾辻 晴③、5区：永井 心②、6区：星 海憧③

補欠：平山嵩真③、竹俣 涼②、菅野楓真②

サポート：藤田奈々花③、佐久間優藍②、安部優奈②、坂梨陽哉②

野坂莉玖①、伊藤大翔①



女子優勝メンバー

夏休み前から活動が始まった特設駅伝部。夏休みには人数が絞られ、早朝からさらに厳しい練習を積み重ねてきました。この夏、共に切磋琢磨しチーム力を高めた日々、正直とても辛かったです。選手発表も大会の2日前で、し烈なレギュラー争いでした。その中で私と妹の姉妹で選手に選ばれ、二連覇達成、県大会の切符を手に入れることができました。いつも応援に来てくれる祖父母が優勝旗を見て、涙を流して喜んでくれたことが嬉しかったです。頑張ってたかったです。また何より仲間の応援やサポート、先生方のおかげで念願の二連覇につながりました。みんなの想いがつまったタスキを県大会、東北大会につなげていけるよう頑張ります。(小林凜香)

市駅伝大会では優勝することができました。去年に引き続きで二連覇を達成できました。優勝した時はとても嬉しかったです。優勝できたのも辛い練習をともにしてきた仲間や指導して下さった先生方、家族のおかげだと思います。私は、1年生から3年生までの3年間駅伝をやってきて、1度の準優勝、2度の優勝というとても良い結果を残すことができました。2年の時には区間新記録、3年の時には区間賞をとることができました。県大会にも3年連続で出場することができました。今年の県大会は去年と会場が違い、アップダウンがすごく激しいところなので、体力的にも精神的にも大変だけど、みんなで1本のたすきに思いを込めて精一杯、悔いの残らないように最後まで走りたいと思います。そして、県大会までの約1ヶ月間の練習を大切にして、辛い練習もみんなでのりこえて、本番では6位以内に入賞して東北大会出場を絶対に決めたいです。(伊東舞莉彩)

## 豊かな表現力で準優勝！暗唱の部 前田さん

創作の部 箭内君も堂々とスピーチ 第68回郡山市中学校英語弁論大会 8/30(金)

8月30日(金)郡山市中央公民館において「第68回郡山市中学校英語弁論大会」が開催されました。午前の暗唱の部には29名、午後の創作の部には23名の生徒が出場しました。暗唱の部では3年前田花音さんが、タイトル「Kiki's Delivery Service」のスピーチで見事準優勝に輝きました。宮崎駿監督の『魔女の宅急便』の1シーンを、喜怒哀楽にあふれる豊かな表情やジェスチャーで見事に表現しました。その表現力が大きく評価されました。創作の部に出場した3年箭内佑都君は、「For the Future Generations」(将来の世代のために…)というタイトルで、ベラルーシ派遣団員としての経験から、復興への思いや願いを柔らかな表現力で堂々と主張することができました。2人とも夏休み期間中も登校し、練習を積み重ねてきました。ともに聴衆を魅了するスピーチでした。前田さんは9月6日(金)に伊達市ふるさと会館で開かれる県大会に出場します。県大会という大きな舞台上、自信を持って思いっきり自分を表現してほしいと思います。



表現力豊かな前田さんのスピーチ



堂々とスピーチした箭内君

1年生の頃から挑戦したいと思っていた英語弁論大会に出場できました。この大会では準優勝でした。目指していた優勝を逃してしまったので、今は嬉しさや悔しさで複雑な気持ちです。夏休みに、菊地先生、鈴木先生、ミッチ先生からアドバイスをもらいながら懸命に練習に励み、本番ではその成果を出しきることができたことは良かったです。先生方には、熱心にご指導していただいたことに感謝しています。県大会では、直すべき点を修正し、さらなる高みを目指して臨みたいと思います。(前田花音)

## 思いを歌声にのせて… 福島県合唱コンクール

8月31日(土)福島市のとうほう・みんなの文化センターで開催された「第73回福島県合唱コンクール」に合唱部が出場し奨励賞となりました。さくらももこ作詩の「ぜんぶ」と信長貴富作曲、みなづきみのり作詩の「葡萄の樹」の2曲を歌い上げました。全員が揃っての練習が十分にできない状態でしたが、回を重ねる毎に歌声に成長が見られ、いい合唱をつくり上げてくれました。自分たちの思いを込めて歌い終えた生徒達の顔には達成感を感じることができました。特に合唱部員と特設部員の3年生にはご苦労さまの言葉をおくります。



保護者の  
皆様へ

9月1日(日)のPTA奉仕作業、早朝より多くの方々にご協力いただきありがとうございました。教養委員会の方々も運営ご苦労さまでした。校舎内の窓ガラスやトイレが大変綺麗になりました。今後もPTA活動へのご協力よろしくお願い致します。